

東日本大震災における 保健活動について

～女川町乳幼児健診再開への支援～

群馬県小児保健会総会並びに研究集会

平成23年8月25日(木)群馬会館

宮城県東部保健福祉事務所

(宮城県石巻保健所)

宮川 暁子

1 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所)の 災害保健活動

宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所)の場所



(石巻合同庁舎)
東部保健福祉事務所
石巻保健所

石巻湾の海岸から約3km,
北上川から約700m
内陸に入った場所



第1ステージ

平成23年3月11日～3月14日（4日間）

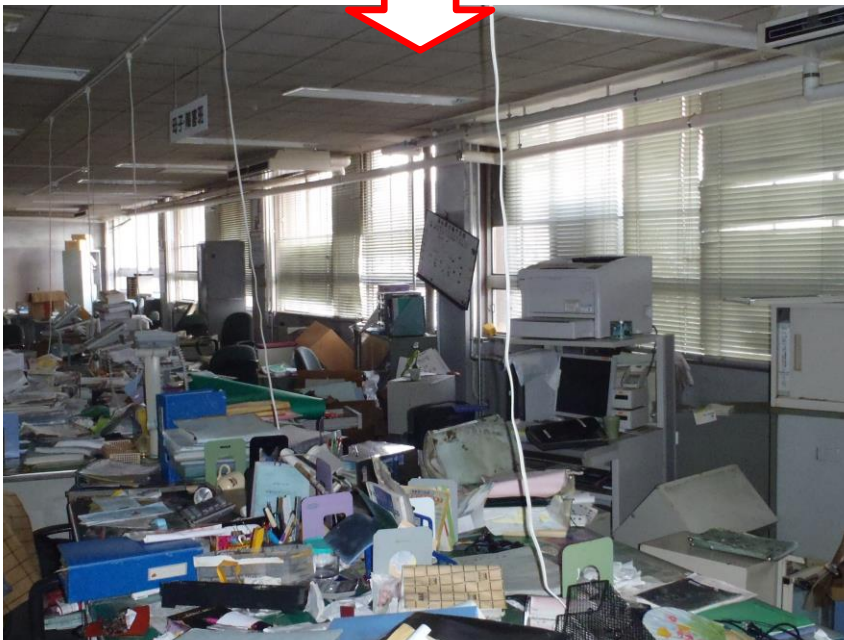
水没した石巻合同庁舎での災害時保健活動
避難住民400人と 県職員200人が孤立

- ① 庁舎の被災状況
- ② 避難者への対応
- ③ 庁舎からの脱出



庁舎の被災状況

保健所棟(震災直後)の状況
キャビネット転倒、書類等散乱



防災用携帯電話
使用不可

公用車・自家用車
水没

保健所棟1階
水没



自家発電機 水没

津波に浸かった救急用医療セットを引きあげ、薬剤・物品等を使用した

避難者への対応

4つの会議室

救護室
(1部屋)

保健師
2人
配置

ペット同伴部屋
(1部屋) ...犬10匹以上

保健師
2人
配置

避難者用部屋
(2部屋)

保健師
各部屋
2人
配置

保健医療関係職員

- 医師 2人
(保健所長1人、小児科医1人)
- 保健師 9人
(保健所6人、児童相談所1人、市2人)
- 理学療法士 1人
- 薬剤師 5人
- 管理栄養士 2人
- 歯科医師 1人

避難者への対応

- 処置のみ 10人(消毒・湿布貼付等)
- 処置と薬の処方 32人(解熱消炎鎮痛剤等)
- 自衛隊に救助されて庁舎に搬送された人
22人(低体温等)

避難者への対応



- 2日目(3月12日)の夜救助隊と連絡がとれる
- その夜中、保健所長と保健師が救助の優先順位を決める
- 3日目(3月13日)救助隊が、人工透析・酸素吸入・インスリン投与が必要な患者4人を防災ヘリで石巻赤十字病院に搬送する

庁舎からの脱出（平成23年3月14日）



朝、先発隊として脱出した職員は、救出者の行き先（石巻赤十字病院と避難所）の仕分け作業に従事した。



脱出当日、妊婦や母乳が出なくなった母親に栄養を摂ってもらおうと卵焼きなどを作って持たせた。

第2ステージ

3月15日～3月22日(8日間)

市町村保健活動支援の開始
(東部下水道事務所にて)

- ① 事務所の確保
- ② 市町村支援の開始



事務所の確保

宮城県東部下水道事務所 汚泥棟2階の1室を間借り

公用車
数台のみ

事務用品
わずか

パソコン
2台のみ

プリンター
・コピー機
私物提供1台

壁が
掲示板

公用携帯
2台のみ

インターネット
メール不可

FAX
なし

机なし



電話不通→開通

断水

寝袋・毛布

停電→通電

市町支援保健活動の開始と 派遣日程

サイクル	5泊6日						5泊6日					
月日	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	
被災からの日数	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	
所内	所内保健師5人					事務所（保健所）移転	3/28～県内保健師1人（事務1人）					
石巻市	所内保健師1人・事務職員1人						3/23～県内保健師1人・事務職員1人					
							3/28～県内保健師1人・事務職員1人（総合支所へ）					
東松島市	所内保健師1人・事務1人						3/28～県内保健師1人・事務1人					
女川町	所内保健師1人・事務1人						3/23県内保健師1～2人・事務1人					

市町支援開始

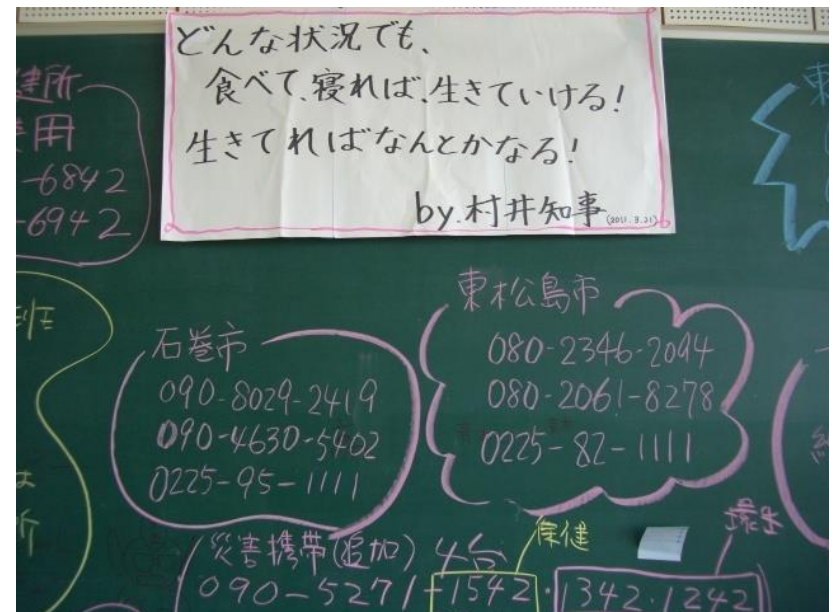
所内保健師が課題検討

第3ステージ

3月23日～4月17日(26日間)

市町村支援の継続と保健所機能の立て直し
(事務所再移転 石巻西高校にて)

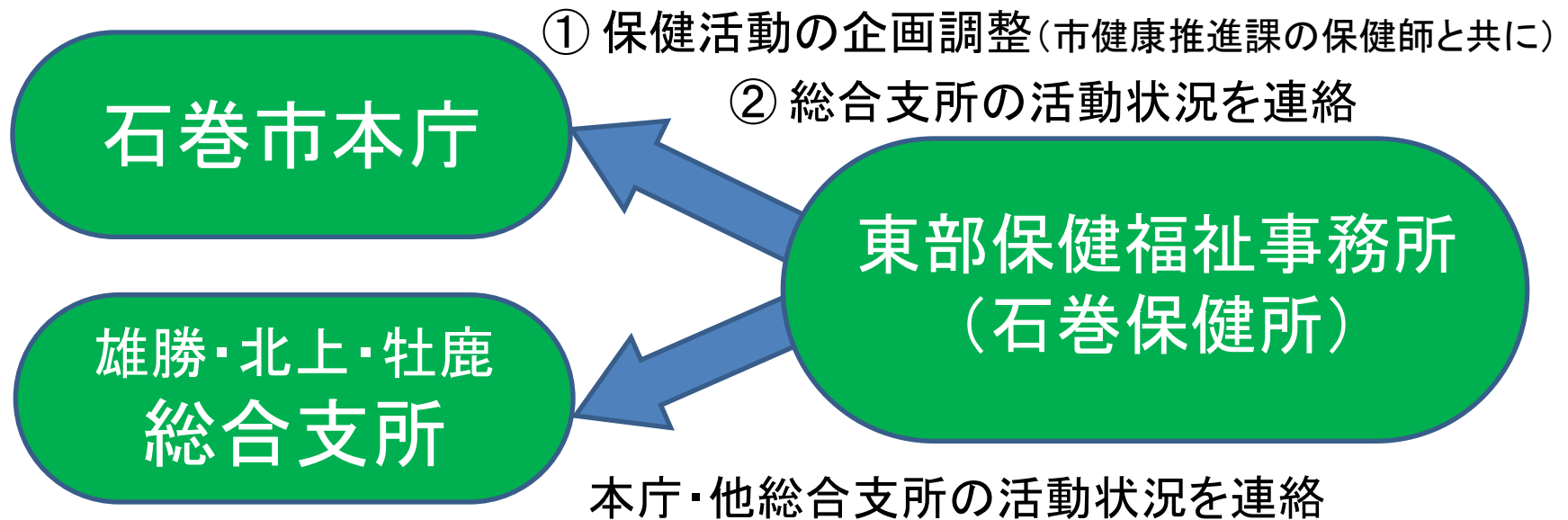
- ① 市町村支援の継続
- ② 保健所機能立て直し



市町村支援の継続

石巻市への支援

平成23年3月28日～6月30日



3月27日(支援開始から10日目) 所内保健師がようやく
一同に会し、保健活動の現状と課題を話合うことができた

保健所機能の立て直し

避難所におけるトイレ衛生化計画の策定・実施

< チーム構成メンバー >

市町、環境保全事業協同組合、自衛隊、石巻赤十字病院
避難所運営者、ボランティア、石巻保健所 他

< 目的 >

- 1 避難所屋内トイレ、屋外仮設トイレを衛生的に管理することによる感染症、食中毒の発生予防
- 2 トイレの衛生的な利用方法の周知
- 3 高齢者の排泄への配慮（簡易トイレの普及促進）

掃除マニュアル

～衛生的な避難所にするために～

ルールをみんなで
つくりましょう

1 居住区域の掃除の仕方

原則土足禁止

靴を交換する場所は、段ボールなどで区分けする

2 トイレの掃除の仕方

使用した紙は流さない

トイレは専用の履物にする

トイレ掃除は定期的に行う

3 消毒薬の管理





受講した避難者が
掃除している場面



くつを脱ぐ
場所の設置
土足禁止！



第4ステージ

4月18日～6月30日（74日間）

市町村支援の継続と通常業務の再開
（事務所の再々移転 石巻専修大学 体育館にて）

- 市町村支援の継続
- 通常業務の再開

市町村支援保健活動(平成23年5～6月)

【方針】

管内市町に対して 災害保健活動への企画調整支援
通常の公衆衛生体制の再構築への支援
保健福祉事務所として 保健活動全体の把握
今後の方針の検討、対策の実施

保健活動ミーティング
週2回開催、情報・課題を共有

【体制】

統括：保健所長

所外：他県公衆衛生医師1名、県内保健師3名(5/1～6/30兼務)
他県事務2名、所内保健師3名(窓口)

所内：保健グループ：所内保健師・歯科医師
栄養グループ：所内栄養士、県内栄養士1名(5/16～兼務)
リハグループ：所内リハ専門職
県内リハ専門職1名(5/16～兼務)

※赤字は
派遣・兼務

管内市町村への支援内容 (通常業務を含む)

- ① 避難所への支援
トイレ清掃支援、避難場所の清掃支援、感染症対策の支援
- ② 在宅(仮設住宅を含む)の被災者支援
個別事例に対する支援(通常業務)
- ③ その他
 - ・ 震災に伴う保健活動及び通常業務における保健活動の今後の進め方についての検討
 - ・ 石巻市への支援内容:
 - こころのケアミーティングへの参加(週1回)
 - サポートセンター庁内打合せ会議への参加(週1回)
 - 県外派遣保健師のミーティングへの参加(週1回)

感染症対策 避難所サーベイランスの開始

(平成23年5月16日～継続中)

<目的>

避難所における感染症の流行を可能な限り早期に把握し、感染症の予防・対策を適確に行う

<調査方法>

避難所で代表者を決め、毎日記入の上、毎月曜日FAXで報告(電話での聞き取り)

<調査対象の病気>

消化器系症状、インフルエンザ、呼吸器系症状
発熱を伴う発疹 等

課題と対応方針・方向性

- 仮設住宅入居者の孤立化防止や閉じこもり予防等のためのコミュニティづくり
 - ⇒ 市町村と情報交換
サポートセンター事業の進捗状況確認
- 自殺予防、グリーフケア、アルコール問題等こころのケア対策
 - ⇒ 市町村との情報交換
関係者への研修会企画
石巻地区精神保健医療福祉推進会議の開催
- 仮設住宅における住環境整備
 - ⇒ 仮設住宅の調査、福祉用具導入等への協力

2 女川町乳幼児健診再開への支援

① 女川町の状況

女川町の位置



女川町の概要

(人口・出生・医療機関等)

人口	10,014人	H23年
人口	10,051人	H22年
15歳未満	1,057人	H22年
15～64歳	5,616人	H22年
65歳以上	3,378人	H22年
出生	58人	H21年
出生率	5.59	H21年
死亡率	11.99	H20年
高齢化率	33.7%	H22年

特定疾患関患者	59人	平成23年 5月現在
小児慢性特定疾患患者	10人	

医療機関	震災前	震災後
病院数	1	1
診療所数	3	0
歯科診療所	3	0
病院病床数	98	50

保育所・学校	震災前	震災後
保育所	4	0
小学校	3	3
中学校	2	2
高等学校	1	1

震災後：平成23年5月現在

② 女川町の災害保健活動

女川町の被災状況



人的被害

死者	416人	8月11日 現在
死亡認定者	299人	
行方不明者	115人	
確認不能者	2人	
計	832人	



住家被害

全壊	2,939棟	7月1日 現在
大規模半壊	162棟	
半壊	175棟	
一部損壊	640棟	
被害なし	642棟	
未調査・所在不明	10棟	
住家総数	4,568棟	

女川町役場・保健センターの被災状況

女川町役場

職員は屋上に
避難

女川町生涯教育
センター

職員は屋根裏に
避難

女川町保健センター



この高さまで
津波が来ました

保健センターの被災状況

生涯教育センターの屋根

女川町保健センター
ここ

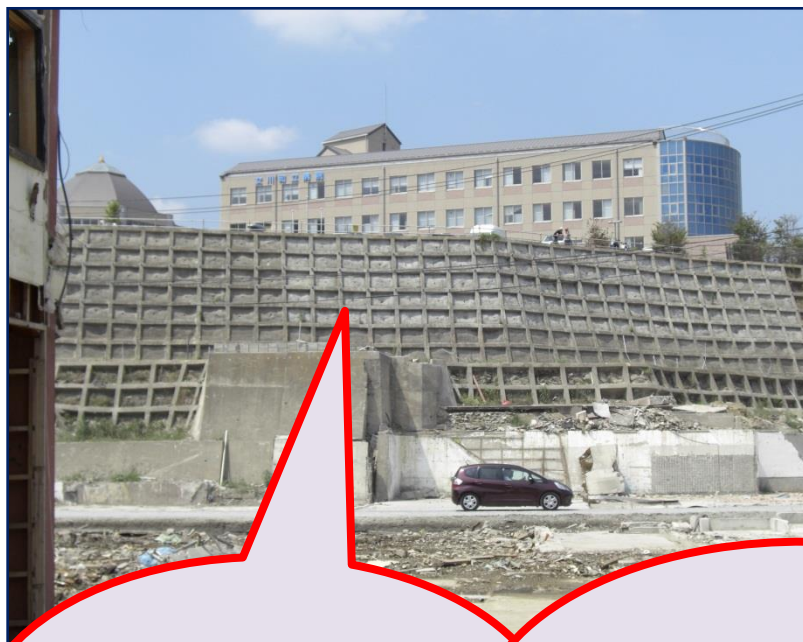
生涯教育センターの屋根



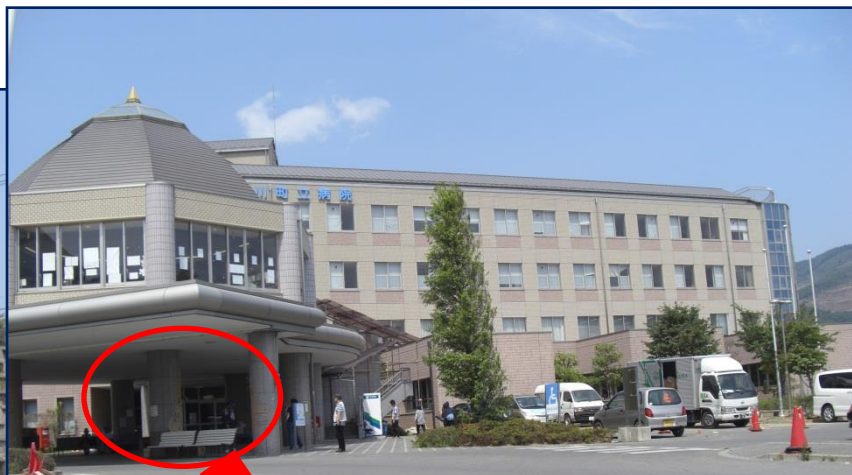
この高さまで
津波が来ました



女川町立病院の被災状況



ビル4階相当の
高台にある
女川町立病院



津波の被害を受け、
1階部分使用不可・
検査機器等破損



避難者の状況

避難者の状況 平成23年5月23日現在

避難所避難者	1,457人
二次避難者	324人
計	1,781人

避難所数 14か所

町内最大の避難所
女川町総合体育館

避難者 676人(5月23日現在)

パソコンが
4月中旬に
2台設置



体育館内
の一室が
保健活動
の拠点



保健活動の実際

助かった命はすべて救う！

女川町総合体育館 トレーニングルーム

鹿児島県チーム7人

この部屋
に宿泊

町保健師さん達

石川県チーム5人



毎朝・毎夕
スタッフミーティングを実施

朝：活動予定の伝達
夕：活動結果を報告

県内保健所保健師

鳥取県救護班も一緒に活動

宮城県災害保健医療
支援室ボランティア
医師（大阪より）

保健活動従事者(平成23年5月)

所 属	主な活動内容	職 種						計
		医師	保健師	看護師	栄養士	事務職員	運転士	
女川町	災害保健活動全般		3人		1人	2人		9人
			臨職1人		臨職2人			
石川県	総合体育館避難者の健康 相談(含む継続支援) 感染症対策 乳幼児一斉健診の準備		4人				1人	5人
鹿児島県	こころのケア相談 避難所巡回相談 (含む継続支援)	1人	4人	1人			1人	7人
石巻保健所	町災害保健活動のサポート		2人			2人 (山形県)		4人
計		1人	14人	1人	3人	4人	2人	25人

保健活動の経過

1週目(3月12日～3月18日)

【現状・課題】

- 女川町役場が被災したため、女川町立第二小学校に災害対策本部(役場機能)を設置
- 女川町保健センターも被災したため、女川町総合体育館に救護所を設置(3/12)
- 次々に搬送される救護者の救護に、町職員が不眠不休で従事する
- 鳥取県救護班活動開始(3/18)

フェーズ0
初動体制の確立

2週目(3月19日～3月25日)

【現状・課題】

- 町立病院を中心に支援関係者の連絡会議(医療調整会議)を開始(毎日開催)
 - 県外派遣チーム活動開始(石川県チーム3/22～、鹿児島県チーム3/24～)
 - 在宅生活者1回目ローラー訪問開始(3/20～)
 - 避難所巡回診療・健康相談開始
 - 風邪・嘔吐症状の避難者が増え始め、派遣看護師を中心に避難所衛生管理の徹底
 - 高齢者のADLの低下、褥瘡悪化等高齢者支援が課題
- 総合体育館通水(3/25～)

フェーズ1
生命・安全の確保

保健活動の経過

3週目(3月26日～4月1日)

【現状・課題】

- 町立病院理学療法士の指導による血栓予防・運動支援のための現状把握
- 避難者数の多い総合体育館のクリーン大作戦、衛生管理のための避難所巡回
- 福祉避難所の衛生環境・マンパワー不足が課題

フェーズ2
生活の安定
(避難所対策が中心)

4週目(4月2日～4月8日)

【現状・課題】

- 車上生活やテント生活をしている方を対象とした健康調査の実施
- 福祉避難所の衛生環境・マンパワー不足が課題
- 介護サービスの再構築に向けた取組として、介護サービス利用者の安否確認の開始
- 在宅生活者1回目ローラー訪問終了(3/20～4/7)
- 医療調整会議2日に1回開催
- 4月7日震度6 停電、断水

保健活動の経過

5週目(4月9日～4月15日)

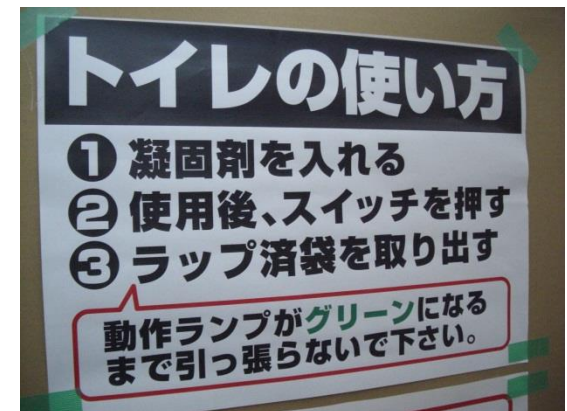
【現状・課題】

- 通常業務再開の準備開始
- 避難所巡回診療・健康相談にて支援が必要な避難者に支援継続
- 医療調整会議 週2回(月・木)開催(4/14～)

6週目(4月16日～4月22日)

【現状・課題】

- 町立病院診療再開(4/22～)
- 避難所から自宅にもどり、体調を悪化させる避難者の発生
- ポータブルトイレ「ラップポン」設置(電気使用)



保健活動の経過

7週目(4月23日～4月29日)

【現状・課題】

- 避難所巡回診療の患者を町立病院につなぐ対策が必要
- 避難所の巡回歯科診療開始(4/25～)
- 二次避難実施(1回目4/23 大崎市鳴子温泉)
- 在宅生活者2回目ローラー訪問開始(4/27～)
- 自衛隊救護班活動終了(4/28)
- 養護教諭との情報交換会実施
- 乳幼児一斉健診の企画

8週目(4月30日～5月6日)

【現状・課題】

- 乳幼児一斉健診準備
- 仮設住宅(第一小学校)入居完了
- 二次避難実施(2回目5/6 秋田県仙北市田沢湖温泉)
- 今後の町保健活動の方針を立てる必要性あり
- 医療調整会議 週1回月曜日開催(5/2～)

フェーズ3
避難所から仮設住宅入居までの期間

保健活動の経過

9週目(5月7日～5月13日)

【現状・課題】

- 総合体育館内救護所が土日休
日夜間休診(5/14～)
- 総合体育館、第一小学校の食事が2回食から3回食へ(5/9～)
- 生活不活発病予防教室の対象者抽出(5/10～5/12)
(対象者:総合体育館内65歳以上の避難者)
- 町立病院で個別予防接種開始

10週目(5月14日～5月20日)

【現状・課題】

- 仮設住宅(第一小学校)入居者一斉訪問(5/14～5/15)
- 町立病院保険診療再開(5/16～)
- 在宅生活者2回目ローラー訪問終了(4/27～5/18)
- 生活習慣病予防健康教室「足腰ぴんぴん！教室」開始(5/17～)
日時:毎週火・金 午後2～3時
場所:女川町総合体育館1階
- 鳥取県救護班活動終了



保健活動の経過



足腰ピン
ピン！教室



感染予防のための
トイレ掃除方法を
避難者に指導中



11週目(5月21日～5月27日)

【現状・課題】

- 乳幼児一斉健診の実施
日程: 5/22～5/24
場所: 女川町総合体育館
トレーニングコーナー等
- 乳幼児一斉健診の台帳及び結果の入力
- 石川県チーム派遣縮小(5人→2人)に伴う総合体育館内感染症対策の見直し

③ 女川町乳幼児一斉健診 実施まで

乳幼児一斉健診実施要領（女川町作成）

【概要】

女川町の全乳幼児及びその保護者に対し、総合的な健康診査を行い、予防接種の勧奨をする。

【目的】

- ① 被災した全乳幼児及びその保護者の心身の健康状態を把握し、必要な援助を行う。
- ② 4月以降実施できていない節目健診（4か月、1歳半、3歳）を行うとともに、それ以外の年齢の乳幼児の総合的な健診を行う。
- ③ 予防接種の実施状況を確認し、未実施の予防接種がある場合は、早期接種を勧奨する。

スケジュールと作業内容

町の
保健師さん
の思い

母子健康手帳も、予防接種台帳も流されてしまった...
予防接種が必要な児に
予防接種を受けさせなければ！

4月中旬 健診の企画（女川町）
住民基本台帳から対象者名簿作成（女川町）

4月下旬 健診項目の検討と対象者数把握の把握
（女川町・他県・ボランティア）
実施要領の作成（女川町）
医師・臨床心理士等への依頼（女川町）

スケジュールと作業内容

5月上旬 医師・臨床心理士等へ依頼文書作成・発送
(女川町・石巻保健所)

問診票の作成 (女川町・他県・石巻保健所)

乳幼児個別ファイルの作成(女川町・ボランティア)

5月中旬 保護者への通知文書作成 (女川町)
⇒発送作業 (女川町・他県・石巻保健所)

健診の様式・必要物品等の確保・作成

(女川町・他県・石巻保健所)

前日までの準備と当日の役割分担の検討

(女川町・他県・石巻保健所)

5月22日(日)～5月24日(火) 乳幼児一斉健診実施

月齢年齢別健診項目（石川県作成）

月齢年齢	生年月	受付	母子手帳 再交付	問診・ 予防接 種確認	身体 計測	内科 診察	歯科 診察	個別相談			集団指導 保健・栄 養・心理
								保健師	栄養士	心理士	
4か月未満	H23年1月 ～ H23年4月	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
4か月	H22年10月 ～ H22年12月	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
7か月	H22年5月 ～ H22年9月	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
12か月	H21年11月 ～ H22年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1歳半	H21年5月 ～ H21年10月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2歳	H20年11月 ～ H21年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2歳半	H20年5月 ～ H20年10月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3歳	H19年5月 ～ H20年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4～5歳	H18年5月 ～ H19年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

それぞれの
月齢年齢別
問診票を準
備した

対 象	人数	日 程
4か月未満～1歳半	77人	5月22日(日)
2歳～3歳	99人	5月23日(月)
4～5歳	59人	5月24日(火)
計	235人	

今回の一斉健診で
三歳児の尿・視力・聴力
の各検査は行わない

新たに作成した資料・様式等

- 業務内容分担表
- 会場設営図、掲示物
- 健診票と個別ファイルカード（生後から5歳まで使用可）
- 予防接種の問診票
- 健診の問診票
- 受付用紙
- 順番整理兼健診内容チェックカード
- カウプ指数早見表
- 股関節精密検査必要書類
- メールマガジン等のチラシ類

問 診 票 (石川県提供)

1才半児健診

※ 問診は裏面にもあります。
忘れずに記入して下さい。

健診日…… 受付時間 午後1時～午後1時30分
場 所……役場 2階 中 会 議 室
持 物……母子手帳・赤ちゃんファイル・問診票(全項目記入の上、持参して下さい。)
お手ふき
内 容……計測・医師診察(内科・歯科) 1才半児の発育、発達、生活、食についての学習、相談。

問 診 票

- ◎ 1. コップで水を飲みますか。 はい いいえ
2. さじなどを使って自分で食べようとしますか。 はい いいえ
3. 食欲はどうですか。 よく食べる 普通 少ない
4. 食事は3回食べますか。 はい いいえ (回)
5. 母乳はやめましたか。 はい いいえ (与える時期)
6. 哺乳ビンを使用していますか。 はい いいえ
7. おやつとの与え方
・時間を決めている。 回数 () 回
・時間を決めずに適当にやる。 回数約 () 回
8. 歯みがきをしていますか。
・していない。 ①誰が ・自分でしている。
・している。 ②いつ ・母親などがしてやる。
・毎日 ・食事やおやつのと
・時々 ・夜ねる前
・気のついた時
- ◎ 心身の健康状態を知るための問診です。子供の様子をよくみて答えて下さい。
やらせてみる項目については機嫌のよい時を選んで何度かやらせてみてから答えて下さい。

アンケート記入日 年 月 日 年齢 (才 ヶ月 日)

<記入の仕方>

お答えになる前にそれぞれの質問を注意深く読んで下さい。そしてあなたのお子さんにもっともよくあてはまると思われる記入の答えを○印でかこんで下さい。ふつうでも全部の項目ができるとは限りません。

- お子さんが現在できるか、以前にできたとき……………はい
- お子さんが現在できなくて、以前にもできなかったとき……………いいえ
- または、できるかどうかわからないとき……………わからない
- お子さんがやろうとしないとき……………やらない(拒否)
- お子さんにやる機会がなかったとき……………やる機会がなかった

※17・18 1. ほしぶどうのような小さな物をひろいあげるときに、下の図のように親指と人さし指だけを使いますか。…………… はい いいえ やらない やる機会がなかった

3才児健診

※ 問診は裏面にもあります。
忘れずに記入して下さい。

健診日…… 受付時間 午後1時～午後1時30分
場 所……役場 2階 中 会 議 室
持 物……母子手帳・赤ちゃんファイル・検尿・問診票(2枚ともきちんと記入の上、持参して下さい。)
お手ふき
内 容……計測・尿検査・医師診察・幼児食指導・相談。

問 診 票

- ◎ 1. 洗 顔 (1) おしぼりで拭いてあげる (2) 自分で拭く (3) 水で自分で洗う
2. 着 替 え (1) いつも手伝う (2) 時々手伝う (3) 一人で行える
3. 食事の仕方 (1) いつも食べさせる (2) 時々食べさせる (3) 一人で食べる
4. 食事の回数 (1) 一日3回食べる (2) 一日3回食べない
5. 食 欲 (1) よく食べる (2) 普通 (3) 少ない
6. 食べ物をよくかんでたべますか。 はい いいえ
7. かめない物やのみこめない物がありますか。 はい (具体的に) いいえ
8. おやつとの与え方
・時間を決めている。 回数 () 回
・時間を決めずに適当にやる。 回数約 () 回
9. 歯みがきをしていますか。
・していない。 ①誰が ・自分でしている。
・している。 ②いつ ・母親などがしてやる。
・毎日 ・食事やおやつのと
・時々 ・夜ねる前
・気のついた時
10. 友達と遊ぶ機会はありますか。 (1) ある (2) ない
(どんな場所で) 例…近所で、育児サークルで
- ◎ 心身の健康状態を知るための問診です。子供の様子をよくみて答えて下さい。
やらせてみる項目については機嫌のよい時を選んで何度かやらせてみてから答えて下さい。

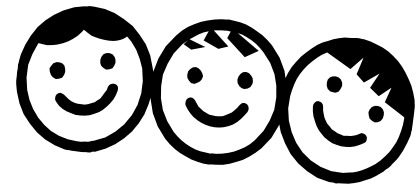
アンケート記入日 年 月 日 年齢 (才 ヶ月 日)

周知用ポスター(石川県作成)

石巻市内の避難所にも掲示していただきました

女川町乳幼児一斉健康診査について

- 日 時 平成 23 年 5 月 22 日 (日)
5 月 23 日 (月)
5 月 24 日 (火)
- 受 付 午前 9 時 ~ 9 時 10 分 (終了予定 11 時半頃)
- 場 所 女川町総合運動場 1 階会議室
- 対 象 女川町在住の 0 か月から 5 歳までのお子さん
- 持ち物 健康診査票様式 1・2、母子健康手帳 (お持ち方)
- 内 容 ①身長・体重計測 ②問診 (発育・発達・予防接種の確認)
③内科健診 ④歯科健診 ⑤栄養指導 ⑥総合相談
- 問合せ先 女川町保健センター TEL0225-53-3151
~都合により受診できない場合は、上記までご連絡ください~

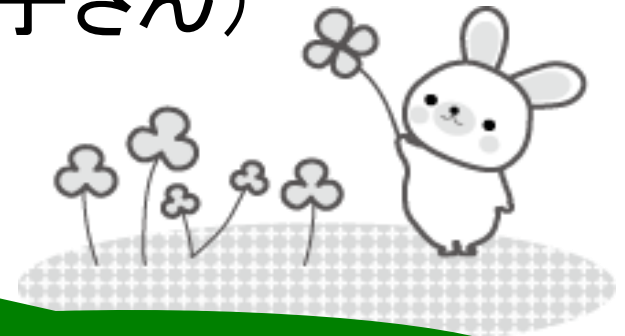


※ 対象のお子さんには、通知を発送しております

健診の流れ(石川県作成)

当日会場内に掲示しました

- ① 受付
- ② 身長・体重計測
- ③ 問診(発育、発達、予防接種について)
- ④ 内科診察
- ⑤ 歯科診察(1歳以上のお子さん)
- ⑥ 集団指導
- ⑦ 個別相談(希望者)

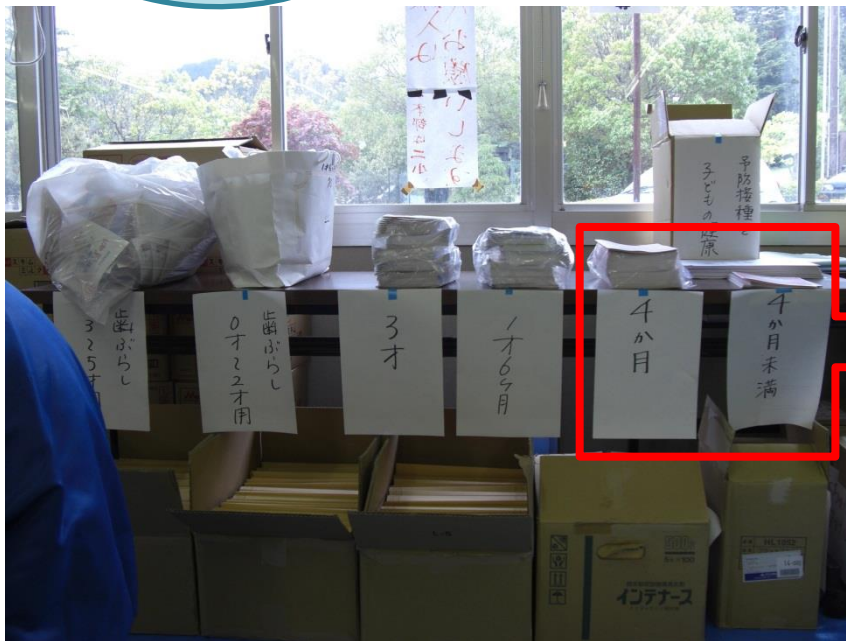


実際は全員実施しました

配 付 資 料

メルマガは
東北大学工学部
の学生ボラン
ティア作成

女川町の健診や予防接種のお知らせをします
「女川町子育てお助けメール」のチラシ
女川町母子関連情報同報メール



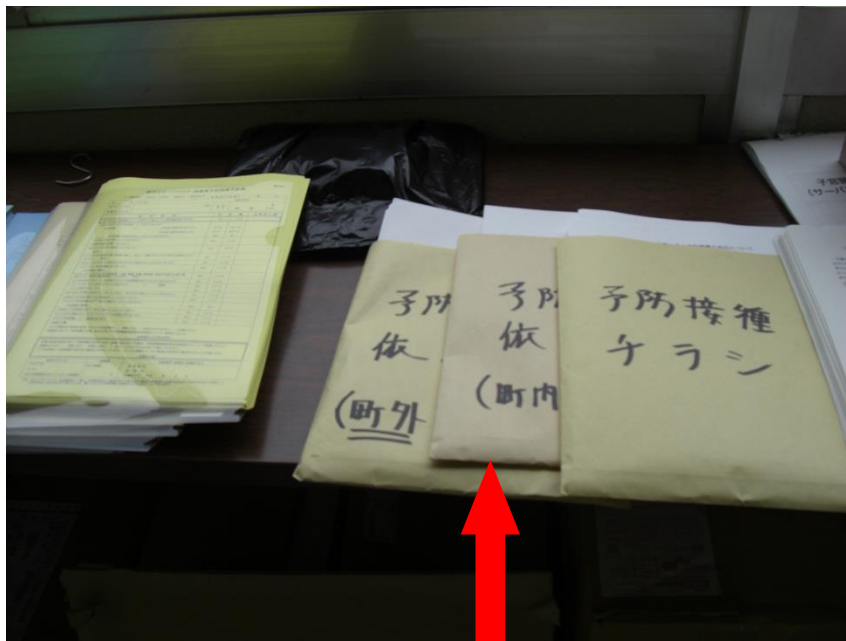
各月齢年齢別配付資料



4か月・4か月未満用パンフレット

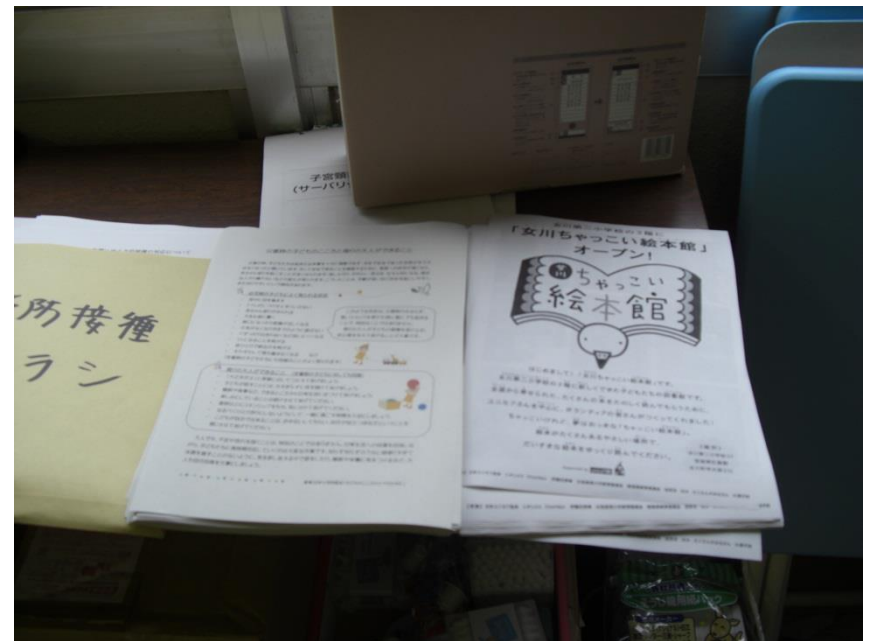
配付資料

予防接種のお知らせ(チラシ)



町外での予防接種を希望する場合に
使用する市町村長への依頼書

絵本館のお知らせ(チラシ)



「あかちゃんファイル」
「予防接種と子どもの健康」を
全員分準備

当日の従事者

職 種	人数	所 属
小児科医師	3人	東北大学病院
精神科医師	1人	鹿児島県
歯科医師	1人	歯科診療所
歯科衛生士	1人	歯科診療所
臨床心理士	3人	東北大学病院、小児科診療所
保健師	15人	女川町、石川県、鹿児島県、石巻保健所、ボランティア
栄養士	5人	女川町・宮城県栄養士会
事務職員	2人	女川町
運転士(獣医師)	1人	石川県
保育士	3人	女川町
教授・学生	3人	私立大学の栄養学部
計	38人	

健診当日の様子

女川町立病院
長も様子を見に
来てくださ
いました

受付

町の事務職員さん
石川県の運転士さん



長蛇の列...

先程まで配食
に使っていた
テーブル

身体計測

女川町の栄養士さん
鹿児島県の保健師さん



真新しい
身長計・体重計

健診当日の様子

一斉健診は初めての
石川県保健師さん達
でしたが、テキパキと
問診してくださいまし
た。さすがプロ！

問 診

石川県の保健師さん
(健診用エプロンも提供していただきました)



ユニセフから長テーブ
ル2つをいただきました

健診当日の様子

集団指導

集団指導はやっぱり町の保健師さんに！



今後の予防接種の
話を真剣に聞く
親御さん達

お母さん達は久しぶり
に再会してワイワイ
お話が弾んでいました

町の保健師さんと
会えて、お母さんたちは
安心した表情でした

乳幼児一斉健診 受健率

月齢・年齢	生年月	対象 児数	受健児数			計	受診率	
			5月22日	5月23日	5月24日			
4か月未満	H23年1月　～　H23年4月	6人	5人	1人	－	6人	100%	
4か月	H22年10月　～　H22年12月	6人	4人	－	1人	5人	83.3%	
7か月	H22年5月　～　H22年9月	17人	11人	2人	1人	14人	82.4%	
12か月	H21年11月　～　H22年4月	20人	10人	1人	3人	14人	70.0%	
1歳半	H21年5月　～　H21年10月	28人	7人	5人	8人	20人	71.4%	
2歳	H20年11月　～　H21年4月	15人	2人	8人	－	10人	66.7%	
2歳半	H20年5月　～　H20年10月	30人	5人	13人	4人	22人	73.3%	
3歳	H19年5月　～　H20年4月	54人	3人	28人	9人	40人	74.1%	
4～5歳	H18年5月　～　H19年4月	59人	8人	9人	24人	41人	69.5%	
小　　計		235人	55人	67人	50人	172人	73.2%	
母子手帳 再交付 31人		対象児数	235人	77人	99人	59人	235人	100.0%
		受　健　率	71.4%	67.7%	84.7%			
6歳	H17年5月　～　H18年4月	－	－	5人	9人	14人		
合　　計		235人	55人	72人	59人	186人		

健診を終えて 従事者からの意見

<小児科医>

- 栄養状態が極端に悪い子はいない。貧血も問題なかった。
- 扁桃腺肥大あり、睡眠障害も出ている子がいた。
⇒医療機関紹介(5月24日)
- 皮膚がかさかさしている子が多い。肌の清潔保持と保湿剤(市販のもので可)を使用するように指導した。
- 身体的には治っているはずだが、腹痛を訴える子がおり、心理士へつないだ。
⇒母がよく気づき対応できているため助言指導で終了(心理士)

<歯科医師>

- 歯垢がべったり付着している児はいなかった。お母さん達が避難所生活中的歯磨きを頑張っているのだと思う。

健診を終えて 従事者からの意見

<臨床心理士>

- 集団での心理相談は難しい。個別対応が良い。個々にパンフレットをわたして話をした。
- 乳児などの小さい子より、大きくなるにつれさまざまな反応が見られるようになっていた。母親からも乳児より上の子が心配との話があった。
- 保育所に行っていないため、子どものエネルギーがあふれている。避難所や親せき宅への避難場では、子どもも大人も我慢が多く、ストレスが高まっているだろう。
- 遊んでいる子はこれから元気を取り戻すだろう。上手に遊べていない子が心配である。

健診を終えて 従事者からの意見

＜臨床心理士＞

- 町外から来た親子も多く、健診を楽しみにしていた様子。
- 母親が大義名分を持ってこられる育児相談等の場所や、小さな居場所があるとよい。
- 子どもへの対応が上手にできている母親が多かった。しかし、母親自体の反応はまちまち（話をしてくれる人と、大丈夫と話さない人）。反応の出方が人によって違うため、母達の精神面も心配である。

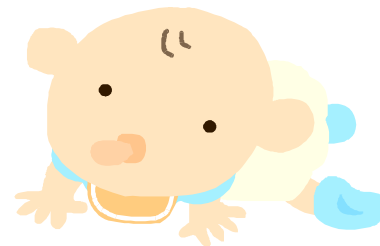
終了時ミーティングの様子



町の保健師さん、ご協力くださったみなさん、お疲れ様でした

女川町の乳幼児健診...その後

平成23年8月から
通常どおり乳幼児健診・教室を実施



- ① 乳児健診
- ② 6か月育児教室
- ③ 1才児育児教室
- ④ 1才6か月児健診
- ⑤ 2歳児歯科健診
- ⑥ 3歳児健診

それぞれ
2か月に1回実施

3歳児健診に臨床
心理士の相談を追加

(H23年8月26日以降)



女川町保健医療福祉調整会議

参加者 町立病院(院長・総看護師長・医師・リハ専門職・管理栄養士)
保健センター職員、地域包括支援センター職員
石川県・鹿児島県・石巻保健所の保健師



女川町では、町民の健康を守るための活動が
今日も続いています